

吸光光度計での信頼性の高い測定のために

吸光光度計の多くは専用のガラスセルに水（試料）を入れ、試薬を加えて測定します。ガラスセルや試薬の状態は測定値に影響を与えることもあり、メンテナンスや確認は大切です。

①ガラスセル

ガラスセルの着色やキズ、汚れ、指紋、水滴は測定値に影響を与えることがあります。汚れや水滴、指紋はセル面清浄用布（HI 731318）またはガラスにキズをつけない柔らかい布を使用し、測定前にきれいに拭くことが大切です。特にガラスセルの外側に水滴が付いたまま測定器に挿入すると、故障の原因にもなりますのでご注意ください。

測定後に試薬と反応し発色した溶液を入れたままにすると、ガラスセルの内側が着色し水洗いだけでは除去するのが難しくなります。測定後は速やかに水で洗い流しましょう。着色が除去できない場合にはセル用洗浄液（HI 93703-50）を使用し洗浄を行ってください。



測定用ガラスセル
(製品によって径が異なります)



セル用洗浄液 230mL
(品番：HI 93703-50)



セル面清浄用布 4枚入り
(品番：HI 731318)

セル用洗浄液 HI 93703-50の使用法

HI 93703-50はエタノール系の溶液です。引火性のある場所でのご使用は避け、直射日光の当たらない冷暗所で保管してください。使用法は、①ガラスセルを水ですすぐ。②セルの半分ほどまで洗浄液を入れ蓋をし、セル全体に行き渡るように何度か振る。③洗浄液を廃棄し精製水などで十分にすすぐ。これで終了です。※洗浄液を使用しても効果がない場合は新しいものをご使用ください。

②試薬

試薬は直射日光を避け、湿気のない冷暗所にて常温で保管してください。試薬が粉末の場合、冷蔵庫や外気との温度差がある場所で保管しますと結露が発生し、粉末が湿気を帯びてしまうことがあります。湿気を帯びると変色をしたり粉末が固まってしまう、信頼性の高い測定が行えません。多湿の場所や夏場はご注意ください。

これを防ぐための手段として「**チャック付きの袋に防湿剤と一緒に保管**」することで湿気による影響を最小限に抑えることができます。

また、試薬には未開封の場合の有効期限を記載しています。

「EXP：04/2019」（2019年4月までという意味）

※期限切れや湿気を帯びた試薬は使用せずに、すぐに新しいものをご用意ください。

